

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	いま注目の文化財で観光PR事業
事業主体 (連絡先)	朝日村 (朝日村教育委員会 電話 0263-99-4105 担当者:丸山真由美)
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり (3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	756,950円 (うち支援金: 571,000円)

事業内容

- 朝日村の「縄文遺跡」「山城」「木曾義仲」に関するスポットや季節の花の見どころ・宿泊施設を地図にまとめた観光案内看板と、巴御前ゆかりの「巴の松」に石柱を設置した。
- 地域住民と有志により武居城跡の環境整備作業を実施した。
- 武居城跡重ね城の見学会を朝日村史談会会長の案内により開催した。



【11/10 重ね城見学会】

【目標・ねらい】

- ①朝日村の文化財による観光PR
- ②住民による武居城跡環境整備作業の継続
- ③郷土の文化財への意識の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①コロナウイルス感染症拡大防止のため村外から大勢の人を招くような観光PRはできなかったが、縄文むら公園や朝日美術館を訪れた方が新設された観光案内看板を見ている姿がたびたび見受けられた。
- ②昨年より地域住民による環境整備作業を始めたが、今年も自発的に参加していただいた。
- ③村の文化財について発信する機会が増やせたため、関心が薄かった方々にも目をとめていただくことができた。

※自己評価【B】

【理由】重ね城見学会はコロナ対応として定員制・予約制で事前に参加者を把握して実施したが、村外者が多く、朝日村の山城をPRする良い機会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度は悪天候により環境整備作業を中止した時もあったが、引き続き年に2回は作業日を設け、目的意識を維持しながら参加者の増加を目指します。郷土の文化財を継承していけるよう保護活動とともに見学会などで文化財に親しむ機会を積極的に設け、村内外にPRしていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある